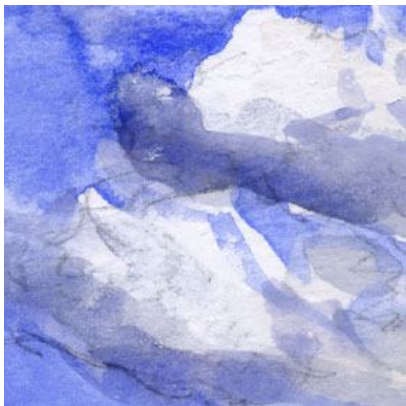


東京ではほとんど見ませんが 地方を旅行していると 時々見かけるのが「火の見櫓(ひのみやぐら)」です 現在はほとんど使われていないものが多いですが 消防団の召集などに半鐘が打たれることがあるそうです 小諸の近くで見かけたこの櫓は 恐らく戦前のものでしょう 街道の風景によく馴染んでいました



これが完成した絵です



1、積雲の厚みと立体感を出すのが難しい 一部パステル(白)を使っています



2、雲の下部はブルー・グレーで影をつけます 雲の一部はジョン・ブリアン(肌色)を使います



3、主題の櫓は 鉄骨だけの構造物なので 非常に難しいです



4、櫓に登る梯子も描いておきます 写真に文字を書く白のペンを使います



5、道路標識 樹木などは良い「脇役」です 一部分だけ細かく描かないように



6、自動車も大切な「絵の部品」です 古い櫓と現代の車の組み合わせが面白いのです